



この会報は赤い羽根共同募金の配分金を受けて発行したものです。

◎発行日：2023年 12月

◎編集・発行：山形県手をつなぐ育成会 広報委員会

題字：南陽市手をつなぐ育成会 鈴木 卓哉 さん

第32回山形県知的しょうがい者福祉大会(報告) 置賜から始まる 仲間とつながる第一歩

2023年(令和5年)10月14日(土)南陽市文化会館(シェルターなんようホール)を会場に「第32回山形県知的しょうがい者福祉大会」が開催されました。全国的な感染症まん延の影響により、令和元年の寒河江大会以来4年ぶりの開催となった本大会は、『置賜から始まる 仲間とつながる第一歩』をテーマとし、長い充電期間からの新たな一歩を踏み出すことを宣言する大会となりました。

秋晴れの清々しい空の下、置賜地区育成会会員・市町村育成会(親の会)、団体会員代表者等107名の方が参加いたしました。また、式典には山形県知事をはじめ多くの来賓の方々にご臨席いただき、小規模開催ではありましたが盛会裏に終わることができました。

本大会にご参加いただいた皆様、実行委員の皆様、ご協賛いただいた皆様のご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

2023年(令和5年)10月14日(土)
南陽市文化会館(シェルターなんようホール)



御受賞おめでとうございました

山形県知的しょうがい者福祉大会会長 表彰状

荒木 栄子 (鮭川村)

山内 京子 (戸沢村)

早川 ナヲ子 (長井市)

高橋 義之 (大石田町)

「おかげりなさいコンサート」
実行委員会(白鷹町)

実行委員長 向田 忠博

山形県知的しょうがい者福祉大会会長 感謝状

沖田 尚美 (南陽市)

男鹿 祐美子 (南陽市)

第32回山形県知的しょうがい者福祉大会



置賜ブロック手をつなぐ育成会の皆さんが
実行委員として大会を運営してくださいました。



南陽市 白岩 孝夫 市長 ~歓迎のことば~



~大会決議~

大会決議（案）

本日、私たちは、ここ南陽市において、コロナ禍後の「新たな一歩を踏み出すことを確信し合う研修大会」として、第32回山形県知的しょうがい者福祉大会を開催することができました。

この大会を契機に、より一層行政や地域と連携しながら山形県における知的しょうがい者福祉の向上と共生社会の実現のため、次のことを方針として掲げて活動することを宣言し決議します。

- 一 障がいの有無にかかわらず、共に生きる社会を実現しよう。
- (1) 来年度より施行される「事業者における合理的配慮の提供」に関して、制度の周知と障がいの特性に関する啓発を図ろう。
- (2) 強行動障がいに対する理解を促進するとともに、福祉施設や医療機関、重度訪問介護等による支援体制の充実を求めよう。
- (3) 成年後見制度の活用に関して、後見人の交代・公費の負担・後見報酬の減額等、利用者側立った制度への改善を求めよう。
- 一 障がいのある子育てを育てる保護者への相談支援や就労支援、学習期の兄弟姉妹への相談支援体制の充実と地域や学校での孤立化の防止を求めよう。
- 一 障がいの者の雇用促進や雇用継続につながる福祉サービスの計画的な整備を求めよう。
- 一 豪雨や地震などの災害時の障がいの者の避難に関して、市町村や関係者とともに個別避難計画の策定を推進しよう。
- 一 手をつなぐ育成会の組織力を強化して、知的障がい児・者福祉の向上を図るための活動を充実させよう。

2023年(令和5年)10月14日
第32回山形県知的しょうがい者福祉大会



~本人大会決議~

本人大会決議（案）

しょうがいの ある 人も ない 人も、安心して 生活する ことが できるように、私たちの 希望を お伝え します。

- 1 私たちに 関する ことは、私たちと いっしょに 決めて ください。まず、私たちの 意見を 聞いて ください。
- 2 私たちが きがりに えらんで 使える 福祉サービスを 増やして ください。
- 3 私たちには、しょうがい が あっても できることが たくさん あります。やって みたい ことも たくさん あります。私たちが 毎日 元気に はたらき つづける ために お願い したい ことが あります。それについて お話し します ので、ぜひ 聞いて ください。

以上、「私たちが、まわりの みなさんと 一緒に 楽しく 生きて 安心して 生活 できる ように 心 を こめて お伝え しました。」

令和5年10月14日
第32回山形県知的しょうがい者福祉大会
廣部 悠希



~講演~

講師：鈴木一成氏（一般社団法人山形県社会福祉士会顧問）
演題：「知的しょうがい者支援へのアプローチ」



~レクリエーション~

「みんなでおどろう」
講師：渡邊 京子(兼子京子)氏(山形心体表現の会)



事業所の販売



いちようの家



竹とんぼ



ひまわり南陽



福祉大会の映像DVDを
各市町村育成会（親の会）
事務局へ送付いたしました。
ぜひ、皆様でご視聴くださ
い。



次回の山形県知的しょうがい者福祉大会は
庄内地区手をつなぐ育成会
酒田市で開催します。
また、元気で会いましょう。





手をつなぐ育成会東北ブロック大会 会長表彰 受賞

渡部 幸也 氏 (羽黒町手をつなぐ育成会 前会長)

金田 正子 氏 (白鷹町手をつなぐ育成会 会長)

「第62回手をつなぐ育成会東北ブロック大会・本人大会」の表彰式において受賞なさいました。ご功績に心から敬意を表しますとともに、さらなるご活躍をご祈念申し上げます。

「お茶のみすっぺ〜」



今回で2回目の開催となった『高橋副理事長とお茶のみすっぺ』11月2日(木)ココス天童店で行いました。北村山地区、西村山地区の会員さんを対象にご案内致しました。今回参加して下さった方は、寒河江市手をつなぐ育成会阿部会長、村上副会長、村山市手をつなぐ育成会藤田会長の3名でした。育成会活動の近況報告などたくさんのお話でざっくばらんにお話し、有意義なひとときを共有する事ができました。話題の中のひとつとして村山市手をつなぐ育成会が取り組んだ活動、アンケート調査についての報告を下記へご紹介いたします。

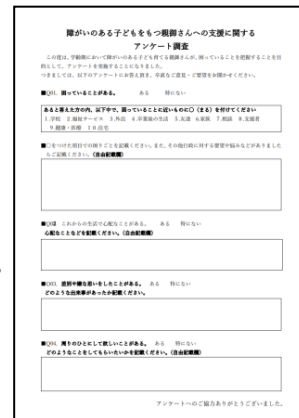
村山市手をつなぐ育成会

「障がいのある子どもをもつ親御さんへの支援に関するアンケート調査」(令和5年6月 実施)

学齢期における障がいのある子どもを育てる親御さんが、家庭や学校生活、学校卒業後のお子さんの将来についてどのような支援を必要としているのか実態を把握し、村山市手をつなぐ育成会として行政へ政策提言するための基礎資料を得ることを目的とし行われたアンケート調査です。

〈アンケート回答の一部をご紹介します〉

- 子どもは、買い物中に大声で騒いだり、走っていく行動があり外出が困難。
- 土日仕事もあり、子育てとの両立が難しい。子どもが18歳以降のことも心配。
- 障がい児だということがみためでわからないため、外出先で不可思議な顔でみられる。
- ショートステイを利用したいが近くにないために利用できない。
- 中学生、高校生となると連れていける場所、遊ばせる場所がない。
- 自宅だけで過ごす行き詰る。子供が思いっきり身体を動かしたり、周りの目を気にせずのびのび過ごせる場所がほしい。
- 生活介護のサービスをする事業所が近くにない。 ○訪問入浴サービスを利用しているが利用料負担が重い。
- 中学校卒業後の進路がよくわからず不安。 ○卒業後の進路にどんな選択肢があるのかわからない。
- 親が高齢化し、子供の面倒をみられなくなった時の生活が不安。



知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病气やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 南東北支店

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-3-11

レイトンビル7F

TEL: 0120-294-747(フリーダイヤル) FAX: 022-264-0081

受付時間: 午前9時~午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo

仙台支店

〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-8-3 富士火災仙台ビル3階

TEL: 022-726-7551

受付時間: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

主な補償内容

病气やケガで入院したとき
入院給付金

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償 ※プランによって補償します

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術/各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき
職業従事者事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

ご入会のお問合せはこちら

山形県知的障害児者生活サポート協会

〒990-0033 山形県山形市諏訪町一丁目2番7号

社会福祉法人要泉会内

TEL: 023-664-0256 FAX: 023-616-5325

2021年12月現在の内容です。(D-005642 2023-03)

事業所紹介 ぽけっとぴーすの森 (寒河江市)



活動のようす

「どんなに重い障がいがあっても、その人らしく、より豊かな地域生活ができるように」を目指し、重い障がいや医療的ケアが必要な方も通所できる場所として令和2年に開所しました。児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護を行っております。一人一人の状態に合わせながら本人が希望する活動が行えるよう、保育士・生活支援員・看護師・理学療法士が連携して支援をしています。日ごろから積極的に外に出る活動をしており、昨年と今年は海に行ってきました。生活介護では入浴サービスも行っております。また、スヌーズレンルームは癒しの空間として好まれています。ぜひ体感しにいらして下さい。



スヌーズレンルーム



多目的ホール

令和5年度(第8回)家族と支援者が共に学ぶセミナー

例年よりは暖かいものの肌寒い12月12日にセミナーが開催されました。

午前中の講演会では、社会福祉法人麦の子会・理事長の北川 聡子氏が学生時代から関って40年になる福祉活動の紹介、1km圏内に50以上の事業所を設立して障がいのある方やその家族、職員が暮らす子育ての村を作り上げたことについてお話頂きました。こどもを中心に、関係するすべての方を支援の対象とする考え方、「共に生きる」、「安心できる居場所」等の大切なキーワードは幼児期から成人期まで共通である事を学び、北川氏の穏やかながら熱い想いのこもった言葉に感銘を受けました。



午後は、「暮らし」をテーマに、相談支援専門員 大滝氏、障がいのある方の保護者 長谷川氏、ご本人さん 濱田氏の3名による発表がありました。障害のある人が地域で暮らすことの意味を再確認するとともに地域の方々に知ってもらう事の大切さを感じました。障がいがあっても自分で選び一人暮らしをしている濱田氏から紹介された『各駅停車の会』では調理実習、茶話会、カラオケ等の余暇活動を所属する約30名の仲間で活動し、「できないことはできる人がやる」助け合いの心で楽しい時間を過ごしているそうです。新幹線みたいに速くは走れないけれど、みんなでゆっくりと助け合いながら歩む『各駅停車の会』の活動は素晴らしいものであり、このような会がたくさんの地域に広がることを願いたいと感じました。一日を通し、セミナーに参加し、心のあたたまる学びとなりました。



編集 後記

コロナが5類へと移行され3年ぶりに開催された福祉大会は盛会に終了出来た事は、とても嬉しいかぎりです。いろいろな事が少しずつ出来るようになった事で次年度は、もっともっと活発な育成会活動になるように一緒に頑張りたいと思います！

知的障がい・発達障がい、
ダウン症、
てんかんの有る方、
ご家族に

病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの
あんしん保険

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの
こども傷害保険

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート

このようなお困り事に心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階
【2021年4月作成 21-TC00392】

0120-322-150

平日9時～17時/土日・祝日・年末年始を除く
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

株式会社エフシーバンクTEL: 022-348-4480